

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
宇都宮市	城山地区	令和3年3月29日	令和5年3月17日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1,022 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	723 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	361 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	157 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	119 ha
④地区内において今後中心経営体及び農地の守り手・支え手が新たに耕作する意向のある面積の合計	116 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<p>&lt;地区全体&gt;</p> <p>70歳以上の農業者の耕作面積のうち、後継者のいる耕作面積は24%であり、後継者不足が課題となっている。</p> <p>&lt;東地区&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手が農地を担いきれなくなっている一方で、東部地区の農業者の一部が他地区の農地も耕作しており、耕作者の負担が大きくなっている。</li> </ul> <p>&lt;中地区&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿川、鑑川の氾濫の危険性があるため、周辺の農地の防災・減災機能の強化が求められる。</li> <li>・他地区に比べて圃場整備が十分ではなく、生産コストの低減が求められる。</li> <li>・大谷石採石場跡で農地の陥没の恐れがある。</li> <li>・「夏秋仔」の団地化を見据えた基盤整備が求められる。</li> <li>・一部で、耕作の継続が難しい農地が発生している。</li> </ul> <p>&lt;西地区&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、農業者の不足はないが、今後の後継者の減少が見込まれ、地区全体を牽引するような後継者確保対策の検討が求められる。</li> <li>・ほ場整備が完了している地区においても、区画が小さいため、作業効率の向上や、集約化を目指し、更なる大区画化が求められる。</li> <li>・山間部の農地では、鳥獣被害が発生しているとともに、一部で、耕作の継続が難しい農地が発生している。</li> </ul>
---

### 3 対象地区内における中心経営体等への農地の集約化等に関する方針

<p>&lt;東地区&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担いきれなくなっている農地について、地域外の担い手の受け入れに備え、農地の集積・集約化を図る。</li> <li>・収益性の高い施設園芸、果樹（梨）の生産振興を図る。</li> </ul>
<p>&lt;中地区&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理機構を活用し、ほ場整備事業を進め、生産コストの低減とともに、農地の円滑な集約・集積を図る。</li> <li>・「夏秋仔」の団地化を見据え、市と連携して、新規参入企業の誘致や参入意向者への情報提供を積極的に行っていく。</li> <li>・隣接の東地区からの入作を受け入れ、営農継続を図る。</li> <li>・氾濫可能性のある河川の現地調査等を実施し、現状の把握に努め、ほ場整備を含めた水害対策に取り組んでいく。</li> <li>・担い手が担い切れない農地では、地域全体で農地の維持・保全に取り組む。</li> </ul>
<p>&lt;西地区&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる農地の大区画化のため農地耕作条件改善事業に取り組む。</li> <li>・後継者の減少見込みに対し、Iターン・Uターン・定年帰農などの獲得を目指し、いつでも誘致できるよう、農地の集約を進める。</li> <li>・担い手が担い切れない農地では、地域全体で農地の維持・保全に取り組む。</li> </ul>

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
認農		梨	2.4 ha	梨	2.8 ha	
認農		水稻	5.0 ha	水稻	5.0 ha	他地区あり
認農		トマト, 水稻	4.0 ha	トマト, 水稻	10.5 ha	
認農		水稻, 野菜	3.5 ha	水稻, 野菜	4.0 ha	
認農		梨, 水稻, 野菜	5.3 ha	梨, 水稻, 野菜等	5.8 ha	
認農		水稻, 麦	13.0 ha	水稻	20.0 ha	
認農		梨, 水稻	5.0 ha	梨	3.5 ha	
認農		水稻, ユリ	4.0 ha	水稻, ユリ	4.2 ha	
認農		トマト	0.4 ha	トマト	0.4 ha	
認農		—	—	苺	0.5 ha	市外
認農		水稻, 野菜	2.1 ha	水稻, 野菜	2.9 ha	
認農		梨	1.2 ha	梨	1.3 ha	
認農		水稻, 梨, 野菜	3.8 ha	水稻, 梨, 野菜	4.2 ha	
認農		梨	2.0 ha	梨	2.2 ha	
認農		水稻, 麦, 大豆	30.0 ha	水稻, 麦, 大豆	50.0 ha	他地区あり
認農		梨	6.0 ha	梨	6.0 ha	
認農法		—	—	野菜	3.0 ha	
認農		梨	1.8 ha	梨	1.8 ha	
認農		酪農	45頭	酪農	50頭	
認農		水稻, 果樹	3.0 ha	水稻, 果樹	3.3 ha	
認農		水稻, 飼料作物 和牛	4.0 ha 20頭	水稻, 飼料作物 和牛	4.0 ha 25頭	
認農		梨, 水稻等	4.9 ha	梨, 水稻等	7.0 ha	
認農		養豚	2,200頭	養豚	2,750頭	
認農		水稻	1.4 ha	水稻, 野菜	6.0 ha	
認農		和牛繁殖 飼料作物	50頭 2.8 ha	和牛繁殖 飼料作物	50頭 2.8 ha	
認農		野菜	5.5 ha	野菜	8.5 ha	他地区あり
認就		—	—	さつまいも	0.3 ha	市外
認農		乳牛 飼料作物	50頭 7.5 ha	乳牛 飼料作物	50頭 7.5 ha	
認農法		和牛繁殖	62頭	和牛繁殖	65頭	
認農		梨	1.9 ha	梨	2.2 ha	
認農		乳牛 飼料作物	120頭 11.0 ha	乳牛 飼料作物	130頭 13.0 ha	
認就		—	—	苺	0.8 ha	
認農法		苺	0.4 ha	苺	0.5 ha	
認農法		—	—	苺	0.2 ha	
認農		苺	0.2 ha	苺	0.4 ha	
認農		水稻, トマト	4.4 ha	水稻, トマト	4.4 ha	
認農		苺, 水稻	0.6 ha	苺, 水稻	0.8 ha	
認農		梨, 水稻	3.0 ha	梨, 水稻	3.0 ha	
認農		梨, 水稻	3.1 ha	梨, 水稻	3.1 ha	
認農		水稻, トマト	1.9 ha	水稻, トマト	2.0 ha	
認農		梨, 水稻	3.6 ha	梨, 水稻	4.5 ha	
認農		梨	2.3 ha	梨	2.6 ha	
認農法		さつまいも	4.0 ha	さつまいも等	27.0 ha	
認農		水稻, 飼料作物 繁殖牛	3.0 ha 40頭	水稻, 飼料作物 繁殖牛	4.0 ha 50頭	

認農		水稲	4.2 ha	水稲	10.0 ha	
認農		水稲, 果樹	3.2 ha	水稲, 果樹	3.5 ha	
認農		水稲, 麦	12.0 ha	水稲, 麦	14.0 ha	
認農		梨	3.8 ha	梨	4.0 ha	
認農		水稲, 麦, 大豆	25.2 ha	水稲, 麦, 大豆	26.0 ha	他地区あり
認就		さつまいも等	0.7 ha	さつまいも等	1.3 ha	
認農		水稲	15.0 ha	水稲	20.0 ha	
認農		野菜	1.0 ha	野菜	1.0 ha	
認農		麦	0.3 ha	麦	0.3 ha	他地区あり
認農		水稲, 麦, そば	35.0 ha	水稲, 麦, そば	35.0 ha	
認農		水稲, 野菜	1.3 ha	水稲, 野菜	1.3 ha	
認農		水稲, 梨	3.8 ha	水稲, 梨	4.3 ha	
認農法		果樹	5.0 ha	果樹	5.0 ha	
認農		水稲, 筍, 果樹	13.0 ha	水稲, 筍, 果樹	14.0 ha	
認農		水稲, 梨	4.6 ha	水稲, 梨	4.8 ha	
認農		水稲, フキ, 果樹	3.0 ha	水稲, フキ, 果樹	3.0 ha	
到達		梨, 水稲	2.1 ha	梨, 水稲	2.2 ha	
認農		水稲, 野菜	12.0 ha	水稲	17.0 ha	
認農		水稲, トマト	2.3 ha	水稲, トマト	2.3 ha	
認農		ねぎ	2.5 ha	ねぎ	3.0 ha	
認農		水稲, 麦	12.0 ha	水稲, 麦, 大豆	15.0 ha	
認農		加工用ブドウ	0.4 ha	小麦	0.4 ha	他地区あり
認就		苺	0.2 ha	苺	0.5 ha	
認農		水稲, 牧草	2.0 ha	水稲, 牧草	2.0 ha	
認農		梨	1.5 ha	梨	1.5 ha	
認農		ユリ, 水稲	3.2 ha	ユリ, 水稲	3.2 ha	
計	70人		327.3 ha		430.6 ha	

農地の守り手・支え手

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画		備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	
		水稲	2.0 ha	水稲	2.4 ha	
		水稲, 野菜, 梅	2.0 ha	水稲, 野菜, 梅	2.4 ha	
		水稲, 里芋	2.7 ha	水稲, 里芋	3.2 ha	
		水稲	0.9 ha	水稲	0.9 ha	
		水稲	3.3 ha	水稲	3.3 ha	
		さつまいも	0.1 ha	さつまいも	0.2 ha	
		里芋	3.0 ha	里芋	3.0 ha	
		水稲	4.0 ha	水稲	4.0 ha	
認農		水稲, 麦, そば	3.5 ha	水稲, 麦, そば	10.0 ha	
		水稲, さつまいも	0.3 ha	水稲, さつまいも	0.3 ha	
		水稲	2.5 ha	水稲	2.5 ha	
認農		水稲, 麦 菌床椎茸	16.7 ha 3,000床	水稲, 麦 菌床椎茸	18.7 ha 3,000床	
認農		水稲, 野菜, 梅	3.6 ha	水稲, 野菜, 梅	4.9 ha	
		さつまいも 繁殖牛	0.1 ha 5頭	さつまいも 繁殖牛	0.3 ha 10頭	
集		そば	1.9 ha	そば	2.8 ha	
計	15人		46.6 ha		58.9 ha	

#### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

##### 農地中間管理機構の活用方針<東, 中, 西地区>

地域全体で農地の集約化を目指し, 生産コストの低減・作業効率化を図りながら, 地域外の担い手の受け入れにも備える。

##### 高収益作物の導入方針<東地区, 中地区>

米, 麦等の土地利用型作物以外に, 収益性の高い施設園芸・果樹(梨)の生産に取り組む。

##### 姿川・鎧川周辺の基盤強化取組方針<中地区>

地域の協力を得ながら, 市と連携し, 河川の改修を含む周辺地域の農業基盤強化に取り組む。

##### 地域の農地の守り手・支え手に関する方針<中・西地区>

農地所有者や兼業農家, 定年帰農者を含む, 農地の守り手・支え手が, 荒廃の未然防止を図り, 農村環境を維持するため, 自作地での作付を行うとともに, 農地や水路, 農道など, 農業生産基盤を維持できる方法を検討する。

##### 鳥獣被害防止対策の取組方針<西地区>

地域による鳥獣対策捕獲体制の構築等に取り組む。

##### 基盤整備への取組方針<西地区>

ほ場整備は完了しているが, さらなる大区画化により, 担い手が耕作しやすいほ場を整備することで, 後継者の確保と農地の継続を図るため, 農地耕作条件改善事業に取り組む。

##### 営農集団に関する方針<西地区>

現在活動している営農集団(ソバ)の活発化を図り, ほかの営農類型(WCSなど)についても, 営農集団の発足に取り組む。